

平成29年度 地域発 元気づくり支援金活用事例



名勝姨捨棚田倶楽部（千曲市）

名勝姨捨棚田倶楽部の場所

千曲市八幡4966-2



姨捨駅

姨捨駅から徒歩3分

名勝姨捨棚田倶楽部の紹介

国の名勝としての「姨捨（田毎の月）」（千曲市）

国の重要文化的景観に選定されている姨捨の棚田

近年の少子高齢化により耕作の担い手が不足、荒廃化が進む。



新たな耕作の担い手となり、
棚田の保全、景観守ろうと
平成25年に約30名の市
役所職員有志を中心に発足。
近隣の耕作者にアドバイスを
受けながら、米作りに挑戦！
（現在の会員は42名）

元気づくり支援金応募へのきっかけ

一昨年、銀座NAGANOと雑誌ソトコトとのコラボで、過疎化と高齢化による耕作放棄が進む姨捨の棚田をリ・デザインするという企画。首都圏在住者や長野県立大学など、農作業体験を通じて様々な交流を展開。様々な職業の参加者からは多くのアイデア発表や夢が、熱く語られ、雑誌の数ページにわたって掲載されました。ここまではよくある話ですが...



たくさんの意見・提案から

観光ではなく
体験を軸に地域とつ
ながりたい！

美しい棚田の
景色を守りたい

休憩や宿泊、
カフェなど

気軽に遊びに行ける
田舎にしたい
(第2のふるさと)



観光以上の交流、将来的に移住につながる
みんなが集まれる場所（拠点）がほしい
地域で困っている空き家を改修し、
みんなの想いを実現しよう！！
長野県には元気づくり支援金があるじゃないか！

姨捨の棚田OASISプロジェクトの始動

農業体験ツアー参加者でもある、千曲市出身（都内在住）の設計士さんが設計を担当。

姨捨の棚田 OASIS

Obasute
Assemble
Sustainable
Inspiration
Specialty house

名勝姨捨棚田倶楽部
長野県地域発元気づくり支援会活用事業

姨捨
集合
承継・持続
創造
特別な拠点
が主な意味として
込められています

姨捨棚田のもう一つの泉「オアシス」と命名。

平成29年度 事業内容



①空き家の改修（元気づくり支援金を活用）

屋根の葺替え、損傷部分の解体、構造体、シロアリ被害部分の復旧

②ワークショップによる内外部の改修

- ・ 内部（清掃、壁の撤去、塗り壁、木部塗装、水回り補修、設備設置）
- ・ 外部（清掃、雑木林伐採、一部屋根塗装、塗り壁）

各種ワークショップは、銀座NAGANO関係者、農業体験者、一般参加者、長野県短期大学生、地域おこし協力隊、会員親子等で進めました。



平成29年度 事業内容

③各種イベント

ワークショップ毎の作業参加者交流会

脱穀作業後の収穫祭

地域しめ縄づくり講習会

地元農業関係者お披露目会



新たに4枚の水田も復田した。

平成29年度 事業内容

④ 広報

信濃毎日新聞、長野市民新聞、ケーブルネット千曲で元気づくり支援金での取り組み等の掲載、放送あり。過疎が進む地域の活性化と荒廃農地の復活に期待も寄せられた



平成30年度 事業内容

①ワークショップによる改修の続き

屋外ベンチ・ウッドデッキ製作、土間コンクリート施工、外部の塗り壁、排水暗渠施工、芝生植栽、網戸張替え、薪置き場、ピザ窯等の製作。



平成30年度 事業内容・今後

① 広報

NHK長野放送局「7/9 イブニング信州」、「7/31 マイあさラジオ」、NHK首都圏ネットワーク「7/11 移住特集」で放送あり。

朝日新聞に掲載、デジタル全国版でも掲載あり。

フェイスブック、ツイッター等でも随時イベント情報などを紹介。

② イベント一覧（活用団体、今後の展開）

首都圏からの田植え体験・草刈り、改修ワークショップ、地域おこし協力隊によるヨガ教室、地元姨捨区育成会、小学校PTAで夏休み親子レク、他団体の農業体験、東京大学、首都大学との協働政策活動。

今後も農業（移住）体験、改修作業を通して交流を図り姨捨の棚田の維持と交流人口の定着化、移住検討の拠点施設としての活用を行います。



おわりに

お祝いに駆けつけて
くれた姨捨地域伝統
の獅子舞！



今回の取組みで、様々な交流の広がりや交流人口の定着化が図られ、地域
の話題になり、地域が変わるきっかけとなりました。これからも地域の応
援や協力を得ながら、大切な場所にしていきたいと思います。

長野県では、何年も前から元気づくり支援金という
非常に柔軟で先進的な取組みがあります。地域の事
を何とかしたいという思いや知恵があれば、今回の
ように実現できるという制度に感謝しながら、今後
も取組みをしていきたいと思います。



活動内容はフェイスブック・ツイッター等で随時紹介しています
「名勝姨捨棚田倶楽部」で検索